

なぎさ通信 第3号

《被圧地下水対策に伴い、初川水門工事の工期を延長します》

日頃より県の土木行政にご協力いただきありがとうございます。
さて、初川の河口部において実施している津波対策水門の建設工事について、この度、工事内容の変更に伴い、工期を延長することになりました。そのため、本通信により、その概要をご説明致します。

当初工期：令和4年3月～令和7年2月
変更工期：令和4年3月～令和11年2月
（4年間延長）



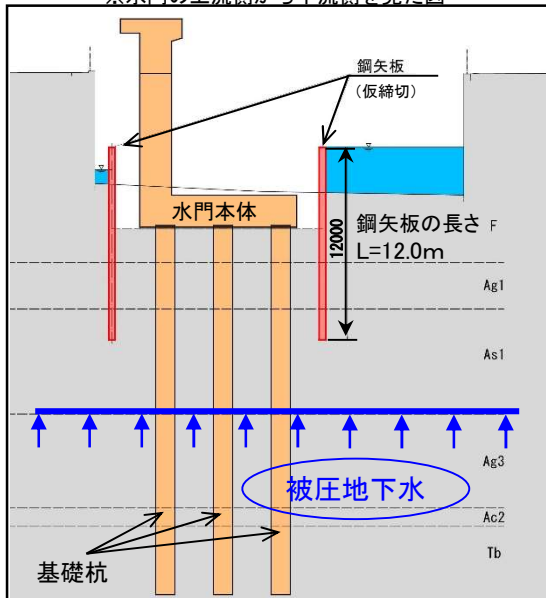
初川水門工事状況（令和5年9月時点）



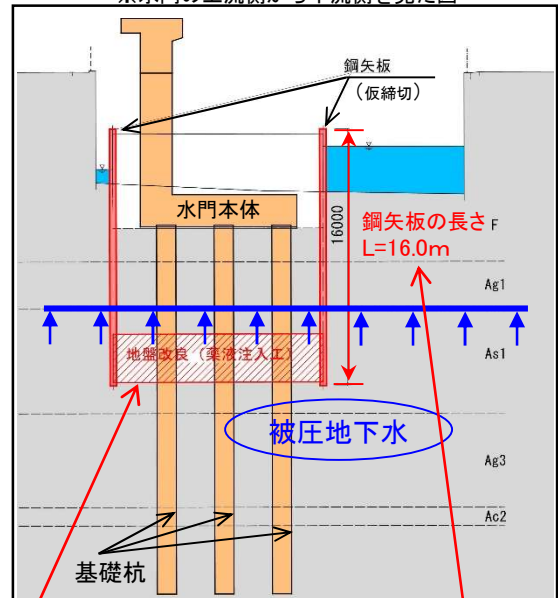
水門完成イメージ図（下流側より）

- (1) 被圧地下水の存在を確認
 - ・工事方法の詳細検討のために、追加地質調査を実施した結果、設計時よりも浅い位置に、被圧地下水（噴出する地下水）が存在していることが判明しました。
- (2) 対策の検討
 - ・水門工事は、鋼矢板により仮締切を行った後、本体の建設工事を行います。被圧地下水が噴出すると施工が困難となります。
 - ・そのため、噴出を防ぐ対策として、下図のとおり、①鋼矢板の長さを長くする（L=12m→16m）とともに、②地盤改良（薬液注入工）を行います。

【当初】 断面図（1期施工時）
※水門の上流側から下流側を見た図



【変更】 断面図（1期施工時）
※水門の上流側から下流側を見た図



【参考】 仮締切の状況（他箇所）

鋼矢板による
仮締切



二級河川殿田川水門工事

対策①：鋼矢板の長さを長くする（12m→16m）
薬液注入工を行うために、鋼矢板を深くまで打ち込みます。

対策②：地盤改良（薬液注入工）を行う
地盤の中に薬液を注入して隙間を埋めることによって、被圧地下水の噴出を防ぎます。

(3) 工期の延長

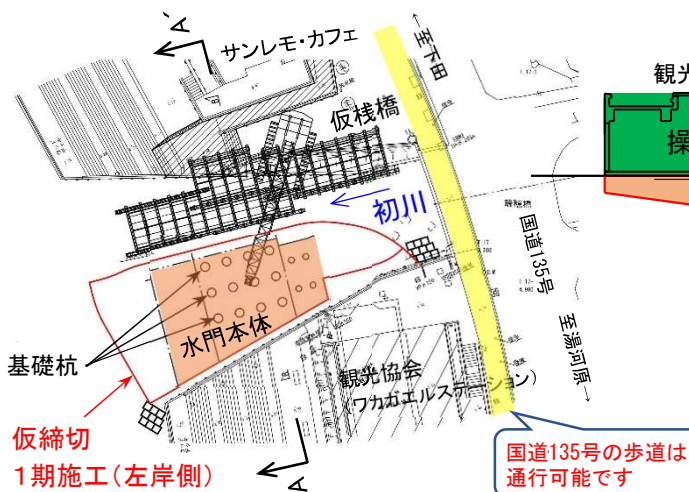
- ・鋼矢板の長さが長くなり、薬液注入工を追加するため、工事の作業日数が増えます。
- ・加えて、水門本体の基礎杭等の長さが長くなることから、作業日数が増えます。
- ・これらのことから、水門工事の工期が4年間延長となります。

全体工程表

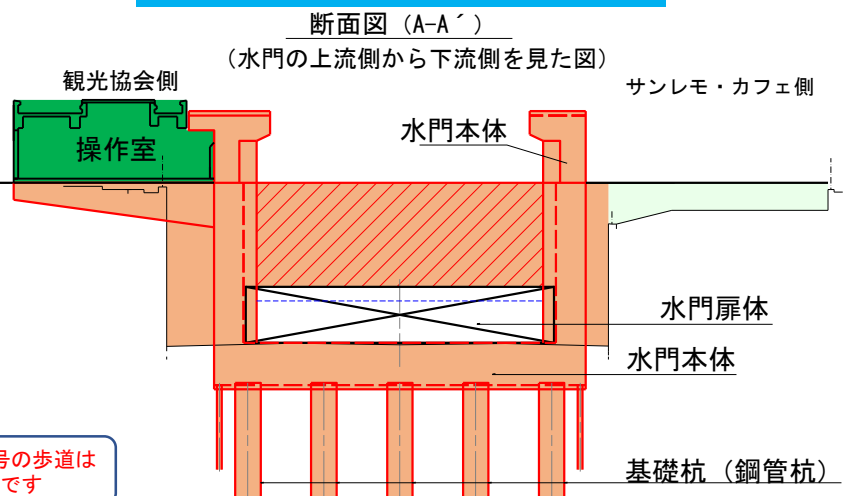
↔ : 当初
↔ (赤) : 変更

工種	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12~
初川水門										
準備工		↔ (赤) 調査・設計の見直し								
仮締切等 (1期施工)		↔ (赤) 薬液注入工、鋼矢板長の増								
基礎杭、水門本体 (1期施工)		↔ (黒) 基礎杭長等の増								
仮締切等 (2期施工)			↔ (赤) 薬液注入工、鋼矢板長の増							
基礎杭、水門本体 (2期施工)			↔ (赤) 基礎杭長等の増							
扉体工等関連工事				↔ (黒)					↔ (赤)	
糸川水門または 熱海和田川水門						↔ (黒) (検討中)				

平面図



初川水門の構造と各部の名称



◎工期延長に伴い、皆様には引き続きご不便をおかけいたします。安全を最優先に工事を進めて参りますので、何卒ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

《水門工事に関するQ&A》

Q：工事で発生する、騒音・振動が心配です。

A：工事では鋼矢板や鋼管杭を施工するため、どうしても騒音や振動は発生してしまいます。対策として低騒音・低振動対応の建設機械を使用し、騒音規制法や振動規制法の規制基準に適合させます。

Q：国道135号の交通規制はありますか？

A：これまでと同様に、基本的に車道の規制は行わず、歩道は通行可能な状態で工事を行います。ただし、鋼矢板や鋼管杭などの大型資機材を搬入する際に、交通規制を行う場合があります。その場合は、事前に工事現場の掲示板や熱海土木事務所のX（旧Twitter）等でお知らせ致します。



＜お問い合わせ先＞ 静岡県熱海土木事務所 工事課
電話番号：0557-82-9181 メール：atado-kouji@pref.shizuoka.lg.jp